

検査項目基準範囲

基準範囲：2023年10月現在

分野	検査項目名	基準範囲	単位	備考
生化学的検査・免疫学的検査	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	13~30	U/L	※1
	アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	男:10~42 女:7~23		※1
	乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	124~222		※1
	アルカリホスファターゼ (ALP)	38~113(18歳以上)		※1,2
	γ-グルタミルトランスフェラーゼ (γ-GT)	男:13~64 女:9~32		※1
	クレアチンキナーゼ (CK)	男:59~248 女:41~153		※1
	コリンエステラーゼ (ChE)	男:240~486 女:201~421	U/L	※1
	アミラーゼ (AMY)	44~132		※1
	総ビリルビン (T-BIL)	0.4~1.5	mg/dL	※1
	直接ビリルビン (D-BIL)	0.1~0.4		※3
	総コレステロール (TC)	120~219		※4
	HDL-コレステロール (HDL-C)	40以上		※5
	LDL-コレステロール (LDL-C)	120未満		※5
	中性脂肪 (TG)	150未満		※5
	ナトリウム (Na)	138~145	mmol/L	※1
	クロール (Cl)	101~108		※1
	カリウム (K)	3.6~4.8		※1
	カルシウム (Ca)	8.8~10.1	mg/dL	※1
	無機リン (IP)	2.7~4.6		※1
	マグネシウム (Mg)	1.8~2.4		※6
	鉄 (Fe)	40~188	μg/dL	※1
	総鉄結合能 (TIBC: Fe と UIBC の和より算出)	男:231~385 女:251~398		※7
	不飽和鉄結合能 (UIBC)	男:111~255 女:137~325		※6
	尿酸 (UA)	3.0~7.0	mg/dL	※8
	尿素窒素 (BUN)	8~20		※1
	クレアチニン (CRE)	男:0.65~1.07 女:0.46~0.79		※1
	総蛋白 (TP)	6.6~8.1		g/dL
	アルブミン (ALB)	4.1~5.1	※1	
	アルブミン・グロブリン比 (A/G 比)	1.32~2.23		※1
	グリコアルブミン (GA)	11~16	%	※9
	グルコース (GLU)	70~109	mg/dL	※10
	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	NGSP: 6.0 以下	%	※10
	C3	73~138	mg/dL	※1
	C4	11~31		※1

	免疫グロブリンG (IgG)	861~1747		※1
	免疫グロブリンA (IgA)	93~393		※1
	免疫グロブリンM (IgM)	男 33~183 女 50~269		※1
	C反応性蛋白 (CRP)	0.00~0.14		※1
	抗streptolysin O 定量 (ASO)	0~160	IU/mL	※6
	リウマトイド因子定量 (RF)	15.0 未満		※9
	マトリックスメタロプロテイナーゼ-3 (MMP-3)	男 36.9~121.0 女 17.3~59.7	ng/mL	※6
	KL-6	500 未満	U/mL	※6
心筋マーカー	ミオグロビン (Mb)	0~65	ng/mL	※7
	CK-MBアイソザイム(CK-MB:Mass法)	0.0~5.0	ng/mL	※6
	心筋トロポニンT(TnT)定量	0.014 以下	ng/mL	※6
	脳性Na利尿ペプチドNフラグメント(NT-proBNP)	124 以下	pg/mL	※6
	脳性Na利尿ペプチド(BNP)	18.4 以下	pg/mL	※6

※1 JCCLS 共用基準範囲(2014 年版)

※2 成長期の小児では高値を示します

※3 日本臨床検査医学会ガイドライン編集委員会, 臨床検査ガイドライン JSLM2012 検査値アプローチ/症候/症例, 臨床検査医学会, 2012

※4 臨床診断値: 動脈硬化学会 HP(2017.11)

※5 臨床診断値: 動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017

※6 メーカー添付文書

※7 自施設で算出(臨床検査委員会承認: 2016.04)

※8 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン 2012 腎性低尿酸血症診療ガイドライン 2017

※9 金井正光, 臨床検査法提要, 第34 版, 金原出版, 2015

※10 糖尿病診療ガイドライン 2016

分野	検査項目名	基準範囲	単位	備考
内分泌学的検査	インスリン (IRI)	2.1-19.0	μU/mL	※1
	甲状腺刺激ホルモン (TSH) ※2	0.50-5.00	μIU/mL	※1
	遊離トリヨードサイロニン (FT3)	2.30-4.00	pg/mL	※1
	遊離サイロキシン (FT4)	0.90-1.70	ng/dL	※1
	サイログロブリン (Tg)	33.7 以下	ng/mL	※1
	副甲状腺ホルモン(PTH)	10-65	pg/mL	※1
	プロカルシトニン (PCT)定量	0.05 以下	ng/mL	※1

※1 メーカー添付文書

※2 甲状腺刺激ホルモン (TSH) 値は、TSH ハーモナイゼーションに対応しております。

分野	検査項目名	基準範囲	単位	備考
血液一般検査	白血球数(WBC)	3.3~8.6	×10 ³ /μL	※1
	赤血球数 (RBC)	M:4.35~5.55 F:3.86~4.92	×10 ⁶ /μL	※1
	血色素測定(Hb)	M:13.7~16.8 F:11.6~14.8	g/dL	※1
	ヘマトクリット値 (Ht)	M:40.7~50.1 F:35.1~44.4	%	※1
	血小板数	158~348	×10 ³ /μL	※1
	MCV	83.6~98.2	fL	※1
	MCH	27.5~33.2	pg	※1
	MCHC	31.7~35.3	g/dL	※1
凝固線溶関連検査	プロトロンビン時間 (PT)	80~120	%	※2
	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	24~39	秒	※2
	フィブリノゲン定量	170~400	mg/dL	※3
	アンチトロンビン活性	80~120	%	※4
	トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT)	3.0 以下	μg /L	※3
	Dダイマー定量	0.5 以下	μg/mL	※2
	フィブリン・フィブリノゲン分解産物 (FDP) 定量	10.0 以下		※5

※1 JCCLS 共用基準範囲(2014 年版)

※2 自施設で算出(臨種検査委員会承認)

※3 北村元仕ほか, 臨床検査マニュアル, 文光堂, 1988

※4 高久史麿, 臨床検査データブック 2007-2008, 医学書院, 2007

※5 青木延雄ほか, DIC 診断基準の「診断のための補助的検査成績, 所見」の項の改訂について, 厚生省特定疾患血液凝固異常症調査研究班, 1988

分野	検査項目名	基準範囲	単位	備考
尿検査	尿中一般物質定性半定量検査			
	比重	1.005~1.030		※1
	pH	4.5~7.5		※1
	糖	(-)		※1
	蛋白		※1	
	ケトン体		※1	
	ビリルビン		※1	
	亜硝酸塩		※1	
	潜血		※1	
	ウロビリノーゲン		0.03~0.97	mg/dL
	白血球	(-)		※1
	尿生化			
	尿蛋白	40~150	mg/day	※2

尿 グルコース	0.13～0.5	g/day	※2
尿 ナトリウム	40～220	mmol/day	※2
尿 クロール	110～250		※2
尿 カリウム	25～20		※2
尿 カルシウム	50～150	mg/day	※2
尿 無機リン	0.4～1.3	g/day	※2
尿 クレアチニン	1.0～1.5		※2
尿 尿酸	0.4～1.0		※2
尿 尿素窒素	6～18		※2
尿 アミラーゼ	30～540	IU/L	※2
N-アセチルグルコサミニダーゼ (NAG)	部:1.0～4.2 畜:1.4～3.2	U/L	※2
NAG インデックス	0.9～2.4	U/g・Cr	※2
尿β2-マイクログロブリン	230 以下	μg/L	※2
尿 浸透圧	50～1300	mOsm/kgH ₂ O	※3
アルブミン定量 (部分尿)	30.0 以下	mg/g・Cr	※1
アルブミン定量 (蓄尿)		mg/day	※1

※1 メーカー添付文書

※2 自施設で算出(臨床検査委員会承認)

※3 金井正光, 臨床検査法提要, 第34版, 金原出版, 2015